

4795 号

# 伝書鳩

2010 年 12 月 6 日

全国一般労組・全国協議会  
安倍川製紙労働組合  
静岡市葵区田町 3-5-6  
電話 054-271-7302  
岩淵構内電話 340  
[abekawarousc@room.ne.jp](mailto:abekawarousc@room.ne.jp)

## 12 月 2 日 紙業職場の安全・改善で折衝 改善に関する認識は同じ

12 月 2 日午後 3 時 30 分、東海王子紙業との折衝がもたれました。紙業とは何度も折衝を持ってきましたが、この日は専務と部長が交替してから最初の折衝でした。

折衝では前日、幅の狭い巻取りの転倒防止について、現場から出された要望に対する具体的な対策から話し合いが

始まり、紙業から改善方向が示されました。折衝に先立って組合から要望したのは①特殊紙パッキングの人員問題。②サイビノールの変更について、具体的に進めること。③加工のパッキングで使用している「片段ボール」使用作業の安全な改善の三点でした。

### 紙業 パッキング職場の人員問題は認識

紙業からは①特殊紙のパッキングの人員について、直当たり 5 人でシフトを組んでいるので、毎月 10 日ほど 3 人勤務の日ができる。これでは仕事が回らないので、現在は追い通しの早出・残業で対応、4 人目を確保している。現在の状態は安全上問題がある。すでに休日日数の違いもあるので、改善すべき状態であることは認識して案を練っている。②サイビノールの代替品については、研技でテストを行った。従来のものより固めなので、

冬場は水で薄めることなども検討されているが、一斗缶を 2 本注文したので入り次第実際に使ってみて、必要な改善をしたい。③片段については静岡時代に行われていた対策を参考に共同紙工に連絡をした、来週には見本が入ってくる。とのことでした。



**連合 来春闘では 非正規の賃上げを優先**  
労働組合に入っている人が、大企業と公務員の正規雇用者など、働く人の五分の一以下になった一方、働く人の三人に一人が非正規になり、労働組合の存在意義が問われています。先月の新聞によれば、連合が来年の春闘では、「非正規の賃上げを最優先」という方針を掲げます。連合内の討論で「正規・非正規にかかわらず、職場の重要な仕事を受け持っており違和感はない。」との意見が紹介されました。安倍川労組も同感です。連合加盟の王子新労や特殊紙労組もきつと同じ姿勢を示すと思えます。

ウラにつづきます⇒

## 組合 増員は解決に欠かせない前提

組合からは、①の認識についてはその通りです。組合の考えとしては正常な作業をするには直あたり 5 人の作業者が必要です。改善については、勤務シフトをいじるだけでは解決にならなかった過去の例もあります。人員増で対応してもらいたいと再度要請しました。



さらに現場から出されている声として、④加工パッキングでは、斎藤産業が日曜や週のなかばが祝日で休みの現在、月曜や休日明けには巻取りは置き場所がいっぱいになってしまっているにもかかわらず、休み明け斎藤産業はトラックの荷物を優先せざるを得ないので置き場がなく、作業に取り掛かれない。職場の責任者には以前より要望しているが対策がされていない。⑤紙業の研修は全体で行っているが、かつて部署単位でも数回行われた。なかなかいい話し合いができていたので継続してもらいたい。と要望し、紙業は両方の件について早急な対処を表明しました。

## スピード感のある対応

今回の折衝は、前任者が長いあいだ「棚さらし」にしていたものへの着手や、前日に現場から出された要望への対応など、紙業の積極的な対応はスピード感をともなって伝わってきました。職場の風通しが良くなり職場の声の活性化による改善・安全が進むことを今後も期待します。

## 近い将来の世代交代についても同方向



正式な論議としては「次回以降」としたうえで、予備的な意見交換として、定年が見込まれる人がたくさんいる中で、仕事の継承を考えての対応を話し合ったところ、紙業も「いつまでも再雇用頼りはできない。」とした上で、採用の必要性を表明しました。